

月額費用

費目	金額	単位	内容
(1)システム利用料			1アカウント（URL）ごとの月額利用料金です
日報システム利用料 100人まで	10,000	円/月	※ 利用人数が多い場合、部門ごとに複数のアカウント（URL）を開設することをお勧めします
(2)外部相談員による個別支援			SPISの運用に当たり、個別の利用者へのサポートを提供します
オンライン支援（ネットSPIS）	10,000	円/人/月	<ol style="list-style-type: none"> 最初に面談を行いセルフチェック項目を設定します（リアルSPIS） 利用者が入力する日報にオンラインで返信し、利用者の安定を図ります（ネットSPIS） 月1回程度で面談を実施し、利用者がさらに安定するよう支援します（リアルSPIS） 担当スタッフからの質問や困りごとに対応します（ネット・リアルSPIS）
面談（リアルSPIS）	8,000	円/回/人	
面談旅費交通費	実費	円/回	
(3)外部相談員によるスーパーバイズ			SPISの運用経験豊富な対人援助の専門職が、スタッフを対象とするサポートを提供します （個別利用者への直接のサポートは行いません）
スーパーバイズ（オンライン+面談等） （対象者数が増える場合）	10,000 応相談	円/人/月 円/月	<ol style="list-style-type: none"> SPISでのやり取りを見守りながら、スタッフにアドバイスします（オンライン、面談） 必要に応じてスタッフミーティングや小勉強会を行います
(3)企業支援実践アドバイザーによる実践アドバイス			企業支援実践アドバイザーが、SPISの運用を通じて雇用マネジメントのアドバイスを行います
対象者数により応相談	10,000 ～ 30,000	円/月	<p>※企業支援実践アドバイザー：企業経営や人事労務部門での実務経験を持ち、人事マネジメントや組織運営の観点からアドバイスを行います</p> <ol style="list-style-type: none"> SPISでのやり取りを見守りながら、スタッフにアドバイスします（オンライン、面談） 必要に応じてスタッフミーティングや小勉強会を行います

個別研修

費目	金額	単位	内容
個別研修（2時間未満）	30,000	円/回	研修内容の例（内容は相談に応じます） <ul style="list-style-type: none"> ・日報の自己評価点やコメント発信を読み取るポイントの解説や演習 ・利用者とのコミュニケーションのポイントの解説や演習 ・事業所内の困難事例の振り返りやマネジメント会議、ケース会議のファシリテート ・その他 メンタルヘルスに関する一般知識や組織マネジメントに関する研修 など
個別研修（2時間以上）	応相談	円/回	
研修旅費交通費	実費	円/回	